

☆ベトナム

原材料

綿花不足に直面するベトナム繊維産業

ベトナムの綿花需給をみると、綿花生産は国内需要の僅か1%を満たすのみで、そのほとんどを輸入に依存している。

ベトナムは510万錠の紡機を備え、年産70万トンの紡績糸を生産する能力を有している。綿花は繊維産業の主要な原材料であり、増加する需要を賄うためには年間40万トンの綿花が必要とされている。商工省によると、今後も原材料の輸入依存は続く方向だという。2014年1~7月の綿花輸入は前年同期比34%増の45.8万トン(同36.3%増の9.2億ドル)であった。

綿作農家では、綿花から収益性のよい他の農作物への転換が進んでおり、8月の商工省からの報告によると綿花耕作地はここ数年で3万ヘクタールから1万ヘクタールに減少した。それで同省は2015~2020年にかけて綿花育成プログラムを実施することを認可したという。

VietnamNetが報じるところによると、Viet Nam National Textile and Garment Group (Vinatex)は、自家消費用に綿花畑を手当しており、Lam Dongでの試験的プロジェクトの経験をいかし、今回はNinh ThuanおよびDak Lakで展開する。同社のNghi社長は、政府に対し、綿作農家の安定化、農作機械導入への支援を要請している。

また、商工省アフリカ及び西南アジア市場部の副代表によると、ベトナムの繊維産業は外国産綿花に対して高額な金額を支払っているため、今後、アフリカ諸国と直接取引をして中間マージンを省くことにより、グローバル市場でのコスト競争力を増し産業全体のメリットになるだろうとしている。現在、アフリカからの輸入のほとんどがフランス、スイス、インドの商社を介して行われており、直接購入するよりも価格が高くなっている。

☆フランス

合繊設備

Hexcelが仏 Roussillon に炭素繊維工場建設

大手炭素繊維メーカーHexcel Corporationは、9月30日、Roussillon地区に、2.5億ドルを投じて新たに炭素繊維のプリカーサと炭素繊維工場の建設する計画を明らかにした。工場内には品質管理研究室や事務所も設置する予定。工場はRoussillonのOsiris Chemicals Industry

Platform 敷地内で 37 エーカー(1.4 万 m²)を占め、Lyon 地区に有する炭素繊維プリプレグ製造工場に近隣する。炭素繊維は、Airbus の「A350 XWB」機や Safran の次世代自動車「CFM LEAP」エンジンなど、顧客製品向けに供給される予定。新工場は 2015 年半ばに着工、2018 年年初にはフル稼働が予定されている。フル稼働時には 120 人の新規雇用が見込まれている。

Hexcel によると、今回の工場建設を決定した背景には、航空産業で炭素繊維部材に対する需要が高まっていることがあり、同社はこの需要に対応するためグローバル・サプライチェーンを整備する方針を明らかにしていた。ここ数年は海外の既存工場でプリカーサと炭素繊維の生産能力を増強していた。Hexcel によると、新工場は欧州初のプリカーサ工場、フランス初の炭素繊維工場であり、最先端の製造設備を導入する計画。

Airbus は今回の計画について、航空機産業では炭素繊維部材の需要が高まっており、Hexcel がフランスにプリカーサ、炭素繊維の工場の建設を決定したことを高く評価している、また、Airbus の A350 XWB の主要部材は、炭素繊維部材であることから今回の決定はそうした意向を支援するもので、Hexcel とのパートナーシップを強化するものであるとしている。

☆ 米 国

買 収 DAK Americas、ポリエステル S を増設へ

DAK Americas LLC(ノースキャロライナ州 Charlotte)はこのほど、サウスキャロライナ州 Cooper River 工場でポリエステル S (PSF) の生産量を検討していることを明らかにした。これは同社の現在のテキスタイル及び PSF 不織布の製造設備を年産 2,500 トン(5,500 万ポンド)増強するというもので、第 1 フェーズの完了が 2015 年 3 月～4 月、その後すぐに第 2 フェーズに入る予定。完了すると DAK の NAFTA 地域におけるポリエステル S 生産量は 22.7 万トン(5 億ポンド)となる予定。

以上